

れいんぼー便り③

人と人がつながり、支え合う地域をみんなで作るために

特別支援教育推進協議会

※この協議会は、小中学校、幼稚園、保育園、教育委員会、健康福祉課などの職員で組織しています。昨年度まで発信していた「もやい便り」から今年度より「れいんぼー便り」に変更し、子どもたちについての情報をお知らせしていく予定です。

通級指導教室ってなあに？

その子に合った
学び方があります。

誰でも得意なことと苦手なことがあります。「聞く力」「話す力」「書く力」「物事を整理して考える力」などが苦手なお子さんは持っている力を十分に発揮できずに、学校生活でつらい思いをすることもあります。

通級指導教室は、子どもたちが皆、学校で生き生きと過ごせるように、一人一人に合った指導方法で個別学習をする教室です。また、ご家族の悩み等をゆっくり聴くための面談をしています。

すべての小・中学生が対象です。申込については10頁の「通級指導教室募集案内」をご覧ください。

新設！中学校内「大刀洗教室」について

今年5月に新しくできました。週に1、2回実施します。大刀洗町には中学校はひとつだけなので、通級に通う生徒は、時間になったら自分で大刀洗教室へ移動して来ます。

個別で学習することで、自分の苦手なところが少しでもなくなるように取り組んでいます。

見る力を高める学習の例として、タブレットを使ったナンバータッチや、卓球など体の動きを取り入れた学習等を行っています。

担当 土屋先生



漢字の覚え方にも
いろんな方法が
あるんだね

漢字パズル

菊池小学校内「きくち教室」について

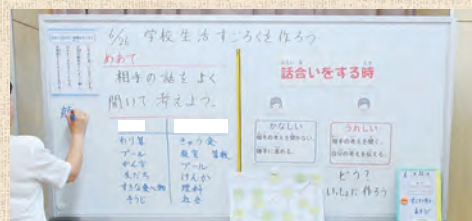
基本的に、週に1回90分程度実施します。

どのような支援をすれば、やる気をもって楽しく学習できるかを考えて支援しています。

たとえば、体のバランスをとる力、見て形を捉える力等を身につけるために、体幹、リズム感を鍛える運動等からだを自在に動かせる力をつけています。それは文字をしっかり書く力につながります。

また、お友達とのトラブルが多いお子さんには、学習用ゲームなどで楽しみながら、相手の気持ちに気づき、どのような言葉を使うと気持ちが伝えられるかを学んでいきます。

担当 佐々木先生



コミュニケーションの学習（ペア学習）

園子ども課 ☎77-6205

菊池 SAKURA 組女性学級

7月16日(木)、就業改善センターにおいて菊池校区公開講座・「素晴らしい緑茶の食文化」と題して、福岡女学院大学名誉教授 坂元 明子 氏をお迎えし、講義と緑茶の飲み比べを行いました。参加者も多く、ことわざや歴史、喫茶の習慣について等、丁寧に講義をしていただきました。

後半は、煎茶と深煎り煎茶の飲み比べ、一煎目と二煎目の飲み比べ、水出し茶と氷出し茶の飲み比べをしました。又、ペットボトルのお茶との違いなど大変興味深いお話も有り緑茶の奥深さやおいしさを再認識することができました。

この講座を通して、中国に起源を持つ緑茶が日本に伝わったこと、栄西禅師が飲茶文化をもたらし、持ち帰った茶を筑前国背振山に植栽したこと、栄西が建立した聖福寺には、そのお茶の木があること等、多くを学ぶことができました。

緑茶の特徴を学び、飲み比べをすることで、自分に合ったおいしいお茶を知ることができて、素晴らしい緑茶の食文化の一端に触れた一日でした。

